

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年5月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103060
法人名	医療法人 仁愛会
事業所名	グループホーム 笑憩の里
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町5221番地1 (電話) 099-295-8650
自己評価作成日	令和4年3月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年5月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者様個人に合わせた生活スタイルに基づいて、食事・入浴・睡眠・移動・協働作業などをご本人・ご家族・職員の意見を取り入れながら安全安心して頂けるケアに努めています。
- ・気候や天気の良い日は園庭散歩や日光浴で職員と一緒に四季折々の花や野菜を眺めたりして精神面の安定が図れるようにしています。
- ・かかりつけ医の訪問診療や専門医(皮膚科・歯科)と連携し入居者様の健康管理や健康維持の相談や助言を頂いています。
- ・災害に備えて毎月自主防災避難訓練を実施し備蓄品も定期的に点検を行っています。
- ・レク活動では曜日でレク内容を変えてゲームを楽しんで頂いています。
- ・写真を撮って一人一人のアルバムを作っています。また、毎月ご家族様へ状況報告と共に写真を送って日常の様子がわかり安心して頂けるようにしています。
- ・入所前のご本人やご家族との関わりや情報を得ることで入所後の寄り添うケアを行い、入居者様を敬い虐待をしない誠実な施設を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体医療機関が近くにあり、協力医療機関とともに24時間緊急時医療連携体制を構築し、急変時には夜間でも対応できる。事業所の看護師が日常の健康管理を行い、適切な医療を受けている。
- ・事業所の防災意識が高く、通報システムの確認や避難訓練を毎月実施し、地域住民に車いすの操作講習を行ったり、備蓄、備品の点検も定期的に行われている。
- ・管理者は事業所及び職員の質の向上をめざし、職員の研修や資格取得を支援し、働き方改革の一環として、書式の見直しや職員のコミュニケーションを養い、職場環境の改革にも努め、運営に反映している。
- ・コロナ禍での面会制限がある中で、管理者が月に1回写真や手紙で状況報告する事により、家族の安心感や信頼につながっている。
- ・職員は、利用者がゆったり楽しく過ごせるよう、家庭的な雰囲気作りを目指してチームワークで取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	笑憩の里の基本理念「ゆっくりたのしくゆったりと」に沿って過ごせるよう急がず慌てず入居者様とのコミュニケーションに努めている。	利用者と共に貼り絵で作成した理念を玄関や廊下に掲示している。パンフレットや運営推進会議録にも記載している。職員会議で唱和し、勉強会、カンファレンスで振り返り、共有しケアの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や運動会は最近参加できていないが、運営推進会議や施設行事、年2回の合同避難訓練に地域住民に呼びかけ交流を図っている。	コロナ禍の為、地域や学校行事への参加・施設行事への地域住民に対する呼びかけは自粛しているが、自治会から運営推進会議への参加があり、散歩時の挨拶や野菜の差し入れなどがあり、地域との交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域事業所の方々との会議や意見交換を通じ地域の方への発信を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様、ご家族、町内会長、民生委員、長寿あんしん相談センター職員に参加して頂き、活動報告、意見や提案を伺い、時には厳しい意見も頂きますが運営に反映している。	会議は2ヶ月毎に開催し、コロナ禍の為、書面会議として現状報告やヒヤリハット、課題等を資料にして返信用とともに送付している。出された意見は運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行政の制度の改正や実状やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築いていくように個々崖ている。	市の担当者や生活保護担当者とは電話や窓口に訪問して、現状報告やアドバイスをもらうなど連携を図っている。県グループホーム協議会の研修会に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は絶対にしてはならないことを代表者及び職員全員遵守している。しかし、危険を伴う状況下ではケースカンファレンスを開き家族や法人との話し合いを持ってケアに取り組んでいきます。もし行った場合は記録を残すようにしている。	身体拘束・高齢者虐待防止委員会を開催し、事例報告を参考に言葉の拘束も含め、具体的行為を正しく理解している。玄関の施錠は非常時以外はせず、外出希望者には職員が同行し、拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間での皮膚観察や言葉での虐待が無いようにお互い気を付けて注意する様にしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・花倉病院のソーシャルワーカーと連携している。 ・職員は研修や勉強会で成年後見人や制度について理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時に十分な説明を行い理解して頂いています。 ・変更や改定時には、速やかに各ご家族へ説明を行い理解や同意を頂いている。 		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議はコロナ禍にあり十分にご家族様、外部者との意見交換が出来ていない。しかし、利用者様から随時意見や要望を管理者や職員は聞き取り運営に反映させている。 	利用者からは日常の会話やレクリエーション活動時等に思いを聞いている。家族からはモニタリング時や手紙・電話での報告時に聞き取りを行い、毎月のお便りや手紙に写真を添えて、行事や取り組みについて案内し意見を聞いている。意見は運営に反映している。	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上の業務カンファや職員会議で意見や提案を聞く機会がある。日頃から積極的に意見や要望や提案の発言が多く、皆で話し合い反映させている。 	朝礼や職員会議で意見を聞き、管理者は必要時に個別相談を受けたり、新入職員には時間を決め意見を聞いている。ケアに対する事案、調理について等、職員の意見を話し合い、業務改善やケアの統一に活かしている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月希望休、有給休暇希望を確認し勤務表を作成している。 ・休憩時間や終了時間が守られるよう職場環境の整備に心がけている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県グループホーム協議会に加入している。 ・2ヶ月に1度研修があり毎回2名参加できるように調整している。 ・新人職員に対して先輩職員の指導を受けながら新たな技術を習得できるようにしている。 		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県グループホーム協議会に加入し研修に参加交流している。 ・コロナ禍にあり近隣同業者との交流する機会はない。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入所前、本人や家族に施設を見学して頂き、不安や要望を聞く体制を整えている。 ・新しい生活に馴染めるように情報収集を行い関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入所前に家族が不安に思っている事や今後の生活に対しての意向や要望に耳を傾け安心して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人と事前に面談し話を伺う中で家族や本人の思いや介護上の困っている事を見極めるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・本人の得意なことを楽しみながら発揮できるよう支援に努めている。 ・家事協働後は「ありがとう」と感謝の気持ち伝えている。 ・人生の先輩として敬い尊敬の気持ちで接している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ご家族来訪時には近況報告を行い、状態の変化等によっては随時連絡を行っている。 月1回はご家族へメッセージと日常を撮影した写真を送りご家族と情報を共有している。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日々の会話の中でも馴染みの方の名前を取り入れて話をするようにしている。	コロナ感染対策の為、大きな窓越しでの面会や電話で話をしている。個々の希望により受診時の帰りに馴染みの場所へドライブしたり花見に行ったりしている。訪問美容師等の関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション行事の催し等皆さんでできる楽しい場を設けるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院に入院などされた時は、面会できる状況であれば職員が見舞いに行ったりご家族に電話で様子を伺ったりしている。 <ul style="list-style-type: none"> 悩みがあったら、相談や支援に努めている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	安心した生活が送れるよう傾聴、声掛けに努め利用者様の思いに沿った支援に努めている。	言葉や表情から思いや意向を把握し、困難な場合は表情やしぐさから判断したり、手を上げてもらう等で把握に努めている。家族や入所前のサービス事業所からの情報を参考に、担当職員の意見や介護記録から本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	レクリエーションや会話等でコミュニケーションを通して一人ひとりの生活歴を把握し支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・毎日のバイタル測定や体調の変化に気を付けて健康観察を行っている。 ・心身の状態に合わせた体操やレクリエーション等を支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・モニタリングやアセスメント、ケースカンファレンス、プラン等で職員間で情報を共有している。 ・プラン見直し時はモニタリングを行いご本人、ご家族、主治医、職員の意見を聞き作成している。	本人や家族の意見を聞き、主治医も入った担当者会議で職員の意見を出し合って話し合い、現状に沿った介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月または必要時に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の引き継ぎ時、情報交換を職員間で行い些細な変化も見逃さないように努めている。 ・日勤夜勤で個別に記録を残して、支援に活かしている。 ・情報の共有を怠らないようにしている。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・病院受診支援や個別の外出など支援し柔軟な対応をしている。 ・ご家族の状況を把握しており、本人の状況に応じた柔軟な支援に努めている。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様同士の交流や行事に参加して頂き安全で豊かな生活ができるよう努めている。 		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時には、かかりつけ医の希望を伺い関係の継続に努めている。 ・かかりつけ医を変更する場合は、情報提供し医療の継続に努めている。 ・専門医とは必要に応じて情報提供し指示を仰いでいる。 	本人・家族の希望するかかりつけ医である。かかりつけ医や歯科医の訪問診療がある。専門医受診は家族または職員が同行して受診し、適切な医療を受けている。24時間緊急医療体制があり、緊急時はかかりつけ医の指示で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1～2回の訪問診療時は、情報提供し医療連携を図っている。 ・急変時はFAXや電話で連絡し相談し指示を仰いでいる。 		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院時はカンファレンス開催し状態の把握に努め受け入れ態勢を整えている。 ・ご家族の意向も伺い早めに退院できるように病院関係者との連携に努めている。 		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所契約時に書面で説明し家族の意向を伺っている。 ・入院3週間目でサービス担当者会議を開催し今後の方向性について話し合う機会を設けている。 	<p>契約時に重度化や終末期に向けた方針を説明し、延命処置や希望の入院先も含めて同意書をもっている。キーパーソンも高齢になる為、状況変化時には段階的に話し合いをもち、方向性の確認を行い、本人や家族の意向に沿って支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な研修は行っていないが、初期対応や事故発生時対応については机上での勉強会（事故対策委員会）やケースカンファレンスを定期的に行っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防火、災害マニュアルがある。 ・毎月第4木曜日に防災に関わる自主訓練を行っている。 ・年2回（6月・12月）には消防隊の指導の下、総合訓練を行い講評を受けて利用者様が安全に避難できる方法を身に付けるようにしている。 	<p>年2回昼夜想定で、消防署、消防団、地域住民も参加して避難訓練を行っている。自衛消防隊を結成し、地震・土砂崩れに対する訓練も含め自主訓練を毎月実施している。訓練記録もある。災害時の通報システムやスプリンクラーもある。緊急連絡網も整備している。備蓄は水・カップめん・缶詰等がある。居室に防災ずきんを用意している。発電機は検討中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様に対して個々にゆっくりお話を聞き傾聴している。 ・優しく丁寧な言葉を心がけている。 ・ゆっくりと話しかけゆっくりと話を聞くように心がけています。 	<p>研修会を実施し、理念に沿った接遇や対応を心がけている。入浴・排泄・入室には言葉かけに配慮し、誇りやプライドを損なわない対応をしている。呼称はさん付である。申し送りは利用者がいないリビングで行っている。新人研修は利用者個々人の特徴を学ぶことを重視している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝わりやすい言葉で声かけし話しを引き出せるような雰囲気作りに努めています。 		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話をよく聞き、一人ひとりの意向を大切に本人の希望に沿うように対応している。 		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問カットの利用 ・寒暖差に応じて衣類を一緒に選んでいる。 ・毎朝整容時に身だしなみや髪を整えるよう支援している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人に合った食事形態を工夫し無理なく摂取できるよう努めている。 ・献立の好みや味付け等について定期的に聞き取りをしている。 	嗜好調査を定期的に行い、献立は職員が作成し、差し入れの旬の野菜等を使って季節感のある食事を工夫している。誕生会や行事では本人の希望を取り入れながら対応し、食事が楽しめるよう支援している。台ふきや下膳等のできる事を一緒に行っている。	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事量や水分量は個人の1日の摂取量に従って提供している。 ・水分補給の時間は決めて水分量を記録している。 		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週ポリデントにて消毒洗浄を支援を行っている。 ・口腔状態に合わせてスポンジブラシ等使い分けている。 ・日曜日は口腔ケア用品の消毒洗浄を行っている。 		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の状態の情報を共有し、時間に合わせてトイレの声掛けを行い支援に努めている。 ・なるべくトイレで排泄できるように努めている。 	排泄チェック表により、個々の排泄パターンを把握し声掛け誘導している。日中はトイレ誘導を行い夜間のみパットやポータブルトイレを使用し、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じてカスピ海ヨーグルトや牛乳を毎朝提供している。 ・主治医の指示に従い、排便コントロールを行い、腹部マッサージや軽体操を取り入れている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・週2回入浴を実施している。時間帯は利用者様に合わせ、体調を観ながら行っている。 ・体調が悪いときは、曜日をずらしたり清拭支援に変更したり個々の状態に応じている。	週2回午前中に入浴であるが、希望によりいつでもできる。身体状況によりシャワー浴・足浴・清拭を行っている。困難な場合は声掛けや職員の交代等の工夫をして支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・昼食30分後に利用者様の状況に応じて午睡支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬情報は個人ファイルに収納している。 ・薬の変更は受診記録に記載している。 ・与薬前は、職員のダブルチェックを徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・能力に応じた協働を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあり人が密集している外出支援は行っていない。 ・利用者様を園庭散歩に、お連れし気分転換を図っています。 ・天候や体調を見ながら行っています。 	<p>コロナ禍の為、行事外出は自粛しているが、天候や体調を見ながら、園庭の散歩や日光浴を行っている。個々の希望により医療機関受診の帰りや個別にドライブに行き気分転換を図っている。コロナ収束後は近隣施設の小動物見物や買い物・家族と外出、年間行事も再開する計画である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭出納帳（個人分）から必要な物、本人が希望する物を購入し支援している。 		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの電話の取次ぎや本人や御家族への電話の支援を行っている。 ・年賀状や誕生日カードをお渡ししている。 		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関や居間に季節に応じた飾り付けをしている。 ・居室にはカレンダーや家族との写真を貼り、季節感や生活感を味わって頂くようにしている。 	<p>広い日本間があり、温度・湿度・採光・特に換気は気を付けている。玄関に飾られた花やリビングの飾りつけで季節感を味わえるようにしている。日当たりのよいリビングから見える園庭には季節の花が植えられ、桜を眺めたりソファでくつろぎ居心地のよい空間になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者間のトラブル等が無いように席の配置を利用者と話し決めている。 		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が使いやすい様に家具の配置をしている。 ・家族の写真等、見やすい場所に飾っている。 	<p>電動ベッドと畳ベッドがある。エアコンと押し入れが設置され、タンスや寝具も事業所が用意している。個々にテレビやラジオ・姿見鏡・家族写真・ぬいぐるみ等を持ち込み、自分らしく暮らしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日付が解る様に居室にカレンダーを貼っている。 ・環境整備に努める。 ・居室のサッシ（非常口）前には物を置かないようにしている。 		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない